

## 新入会員紹介



### 自己紹介

〇〇歯科  
山 本 達 也

平成21年3月より岩見沢歯科医師会に入会させていただきました山本達也です。この度は5年ぶりの岩歯だより32号発刊おめでとうございます。すっかり顔馴染みとなりましたが、改めまして自己紹介させていただきます。

前年の4月には札幌歯科医師会に入会しまして、札幌では勤務医と開業医を3年程しておりました。平成22年4月より実家で副院長をしております。

平成17年から登録会員にさせていただき、毎年野球大会に参加しておりました。以前、岩歯だより2006年2月号では会員寄稿もさせていただいています。その時も書いたと思いますが、生まれも育ちも岩見沢でして、医療大学歯学部7期生（平成2年卒）でございます。大学卒業後は医療大学歯学部第二補綴講座（クラウンブリッジ）に入局して平成18年12月まで助手をしておりました。医局員時代は臨床に学生実習に燃えてまして、たまにメタルボンドを焼成したりしてその研究もしておりました。ちなみに学生からのあだ名はラッツ&スター♪の「ラッツ先生」と呼ばれておりました（笑）

学生時代は硬式野球部に入ってまして歯学体で谷本圭太先生（当時から怖かったです…）とお会いしております。今は岩歯と一緒に野球を出来るのはホント嬉しいことでございます。まさにカープではエース北別府とライトルいや達川？西武ではエース東尾と清原の関係でしょうか（笑）日ハムでは江夏とソレイタの関係ですかね（笑）

医局員時代も院内朝野球や野球部OB戦に参加しておりました。アメフトOB戦にも参加しましたね。当時、口腔外科の金澤教授が野球部の顧問をされてましてその関係で岩歯と口腔外科の練習試合には助っ人として毎回カープユニフォームで参加しておりました。

趣味は以前の岩歯だよりではプロレスフィギュ

ア収集オタクと書きましたが、今は野球が全てでございます（笑）グッズ収集から観戦までです。野球オタクですね。広島カープが大好きでプロユニフォームからヘルメットなど全て集めてまして、一部では「カープ野郎」と呼ばれてます。もちろん地元日ハムの応援もしております。

こんな自分ですからみなさんと野球をしてる時が一番楽しいですね。体型は元祖おかわり君ですが、期待外れの外国人選手です（笑）

昨年7月の全道歯科医師野球大会では自分が所属したAチームが優勝、Bチーム準優勝と素晴らしい快挙がありまして野球人生初めての優勝を経験させていただきました。皆様本当にありがとうございました。今年も第2クリーンナップ打線で頑張ります。

現在、平成23年4月より鍵谷執行部にて広報と学術の理事をさせていただいております。最初の理事会では右も左も解らない中参加しましたが優しい執行部の皆様のおかげで打ち解けまして今は毎月の理事会が待ち遠しくなっております。実はその後の懇親会が楽しみでもあります。

これからも微力ながら会の為にお力になれるように頑張っていきたいと思いますのでご指導、ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。





自己紹介

ふじみ歯科医院  
安 岡 真 吾

会員の皆様こんにちは。ふじみ歯科医院の安岡です。今回は「岩歯だより」の発行に際しまして、執筆の依頼を受けましたので、自己紹介をさせていただきますと思います。

私は平成10年に北海道医療大学に入学しました。小学校、中学校、高校と野球を続けてきたせいもあり、大学でも硬式野球部に所属しておりました。夏は野球漬けの毎日、冬は夏の方までおもいきり遊ぶというような生活を6年間続けてきました。年に一度の歯学体では全国各地に行き、チームメートにも恵まれて、優勝というすばらしい経験もさせてもらいました。大学卒業後は、あいの里の北海道医療大学病院に3年間勤務しておりました。これも、大学で野球部の後輩の面倒を見るためという理由から就職先を決めました。幸い監督やコーチという貴重な経験もでき、優勝もすることができました。現在は学生不足から部員数も減少し、試合に出場するのも、大変だと聞いており、少し残念に思っております。その後、平成18年より医療法人社団白水会に就職し、夕張のみのわ歯科医院の勤務をへて、平成21年より現在のふじみ歯科医院での勤務となりました。岩見沢歯科医師会に入会してからは、野球部Aチームに所属しております。初めは練習量の多さに驚きましたが、私も根っからの野球好きですのでナイター練習、練習試合と、とても楽しく参加させて頂きました。その成果が、全道歯科医師野球大会Bゾーンで優勝することができ、とてもうれしかったです。来年はAゾーンでの優勝目指して頑張りたいと思っています。簡単ではございますが以上で自己紹介とさせていただきます。今後とも宜しくお願い致します。



自己紹介

〇〇歯科  
山 口 友 隆

こんにちは、岩見沢歯科医師会最年少の山口友隆です。平成20年10月に入会させていただいてからは、はやいもので3年が経過しました。父の突然の他界により、入会当初から開業医および大学院生の二足の草鞋を履く毎日でありましたが、昨年の3月に無事大学院を修了し、どうにか岩見沢での仕事に専念できる環境となりました。こどもクラブ、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、大学院と物心ついた頃からずっと学生（生徒）の立場でありましたので、当初は仕事だけの毎日になると一体どうなるのかと心配していましたが、いい加減、学生であることに疲れていたのか全く問題ありませんでした。

岩見沢歯科医師会に入会して一番の大きなライフスタイルの変化は、お酒を飲むようになったことです。今でも家では一切口にしないのですが、歯科医師会もしくは歯科医師会つながりの集まりで、確実に月に何度かはお酒を飲む機会があります。また、佐々木淳先生に茶色いお酒について色々とお教わっているうちに、ほぼ毎週札幌のショットバーに通うようになりました。ウイスキーは50%を超えるアルコール度数もざらにありますので、肝臓の方が少しばかり心配です。思い起こせば、岩見沢歯科医師会の先生方と、深夜までお酒を飲む最初の機会に恵まれたのが、平成20年12月、ちょうど忘年会の前におこなわれた滝川の温泉での親睦旅行でした。まだ入会したばかりのため、初めてお会いする先生もたくさんいてとても緊張したのですが、お酒を飲みながらたくさん話をする中で、少しでも私がどのような人間であるかを知ってもらえたことが、結果として今につながっているのかなと思うことがあります。入会当初、現在は北見で開業されている飯田先生から、とにかく会の行事にはできるだけ参加しろと言われたことがあります。これからもその教えを守りたいと思います。

お酒以外の変化としては、年に一度だけですが

野球で体を動かすようになりました。全くの野球未経験者であるにも関わらず、野球部にBチームとして参加させていただき、すでに札幌、旭川、苫小牧と3つの大会に出場しました。初めての札幌大会は、Cゾーンでの出場だったと記憶していますが、6月の開催でとても寒く、結構な時間をバスに乗り案内された先が、工場に囲まれた草の生えていない土だけの貧相な球場で、これがCゾーンの予選の待遇かと思い知らされました。確かこの札幌大会があまりにも寒かったため、野球部全員のユニフォームを新調する際に、ダウンコートも一緒に用意することとなったのですが、旭川大会から真夏の7月開催が続いているため、せっかく作ったグラウンドコートの出番が全くありません。大会終了後の皮膚科の受診で、これは軽度の火傷だといわれるぐらい日焼けしてしまう暑さです。今年は釧路ということで少し寒いかもかもしれませんから、もしかするとやっと出番があるのかなと期待しています。

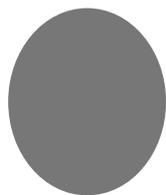
岩見沢歯科医師会での仕事としては、公衆衛生部に所属させていただき、野崎前部長、そして昨年からは佐々木淳部長のもと、主に8020歯っぴースマイルを通し、市民の皆さまに公衆衛生的な素養を身につけてもらうことの大切さを理解していただけるよう努力してきました。毎年の行事をマンネリ化させず、少しでも多くの方に参加してもらうということが、こんなにも難しいものなのかと痛感させられています。また、どのような行事も公衆衛生部の人間だけでなく、鍵谷会長、九津見専務をはじめ、他の多くの先生方のご協力もあってこそ遂行できているものと理解しています。岩見沢歯科医師会の先生方には、お忙しいところ貴重な時間を割き多大なるご協力をいただいておりますこと、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

自己紹介の定番といえば趣味ですが、悲しいことに私には特に趣味といえるものはありません。しかし、公衆衛生部に入ってから、佐々木淳先生と品川先生に海釣りに誘ってもらうようになりました。昨年、小樽までヒラメを釣りにいったのですが、その日は体調が悪かったのか、沖に出てしばらくしないうちにすぐ吐いてしまいました。

そして、事前に飲んだ酔い止めの薬も全て出してしまったのではないかという絶望感から、さらに連続で吐いてしまい、もともと青白い顔面はさらに蒼白となりました。また、追い打ちをかけるように、予報に反して天候は大荒れとなり、激しい雨が長時間降り続き、釣り船のすぐそばには雷が何度も落ちました。例えるならば、台風で誰もいないグリーンランド遊園地で、船の乗り物に4～5時間も強制的に乗らされているようなものです。どこにも逃げ場がなく、まさに地獄でした。しばらくは、普段生活しているなかで少しでも釣り船と同じような匂いがすると、反射的に吐き気がしてしまうほどのトラウマに悩まされました。今年は断腸の思いで川釣りにします。佐々木淳先生、品川先生、ごめんなさい。

最後となりますが、岩見沢歯科医師会のとある先生から、10年ほど働いているうちに、自分はここで歯科医師としてやっていく人間なんだと自覚するようになったというお話を聞いたことがあります。これは適当に仕事をしてきたのでは決して生まれてこない気持ちだと思います。私も将来素直にそう思えるよう、一生懸命に目の前の仕事を頑張り続けたいと思います。岩見沢歯科医師会の皆さま、これからもよろしくお願ひします。





## 自己紹介

サン歯科クリニック  
三 木 龍 治

会員の皆さま、はじめまして。平成二十三年十月に岩見沢歯科医師会に入会させていただきましたサン歯科クリニック院長の三木龍治と申します。簡単ではございますが、自己紹介をさせていただきます。

私の実家は岩手県の盛岡市にあります。父は東京出身でして、父方の親戚は皆東京におりますが、父が岩手医大の医学部に入学し、そのまま整形外科の医局に入局したため、私は高校卒業まで岩手で育つことになりました。父が卒業後、東京に戻ってくれば私も今頃は都民だったのに…と思った事もありますが、実際私は北海道医療大学に入学し、札幌医大の口腔外科学講座に入局し北海道で開業しておりますので、今となってはそんなものかなあと考えております。

高校卒業時は盛岡を出て違う土地で生活したいという気持ちが強かったのですが、今思うと盛岡もたいへん住みやすい場所だったと感じております。冷麺やじゃじゃ麺などは今でも、ふと食べたいと思うことがあります。

札幌医大口腔外科在局中に、関連病院である登別市の三愛病院、津別町の津別病院に合わせて四年半近く赴任させて頂き（登別勤務時には歯科医師会に責任者会員として入会していました）その後、札幌市内歯科医院勤務を経て、現在に至ります。

大学時代はサッカー部に所属しておりました。卒後もOB会の試合などに参加しておりましたが、年々身体がついていけなくなり、ここ数年はもっぱら観戦のみとなっております。おまけに腰痛持ちとなり、年々体型も変わってきております。とにかく、運動不足で少し鍛えないと…と実感する毎日です。

卒後は先ほど述べましたように、札幌、登別、津別と転々としたのですが、登別や津別と比べると、岩見沢は大型店舗もあり（以前は買い物で隣町まで行かないとならない状態でした）札幌にも

近いですし、住みやすく感じているのですが、雪の多さには正直驚いております。

岩見沢歯科医師会の諸先生方、今後とも御指導御鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

